

令和7年度事業計画(案)について

【事業計画の特徴】

令和2年度の日本遺産認定以来、令和5年度の日本遺産フェスティバル開催をはじめ、様々な取組により認知度向上や推進体制の強化につながった一方で、増加するインバウンド需要への対応や回遊性の向上のほか、若年層を中心とした認知度の向上など課題が顕在化している。そこで、今年度は令和8年から始まる文化庁総括評価・継続審査を見据えながら、現在顕在化している課題の解決を図るとともに、中長期的な視点での地域活性化のため、文化観光の推進に重点を置いた予算とする。

【主な取組】

1 人材育成事業(予算規模 3,000 千円)

(1) 外国語ガイドボランティア育成

高尾山を訪れた外国人観光客に対し八王子の日本遺産ストーリーや市内に点在する様々な構成文化財の魅力をガイドとして発信する人材を育成する。また、本事業への参加対象を中学生及び高校生とすることで、若者世代に対する日本遺産に関する認知度向上を図るとともに、多文化との交流を図る機会を提供する。

(2) 既存ボランティアのリスクリング

これまで育成してきた各ガイドボランティア(高尾山、八王子城跡ガイド施設、はちはく)について、横断的な交流の機会を作り、日本遺産ストーリーについてリスクリングを図る。

2 普及啓発事業(予算規模 8,500 千円)

(1) PRイベントへの出展

開催時期	イベント	開催地
7/6	首都高マルシェ(川口 HWO)	埼玉県川口市
8/11	小江戸甲府の夏祭り	山梨県甲府市
9/25~9/28	ツーリズムEXPOジャパン	愛知県常滑市
10/25~10/26	日本遺産フェスティバル in 倉敷	岡山県倉敷市
11/15~11/16	いちよう祭り	八王子市
2/13 前後	日本遺産の日(日本遺産マルシェ)	未定

(2) 桑都ブランド(織物)商品開発

八王子伝統の織物の技術とデザイン力を結び付けるほか、体験等を合わせた高付加価値商品を開発し、オンラインショップ等での販売につなげ、自走化に資する事業とする。

(3) 桑都の食関連商品の普及啓発

桑都物語と関連の深いテーマを通じて食関連商品の普及啓発を図る。

(4) 「桑都物語」ガイドブック【探求入門編】の作成

構成文化財のうち無形文化財を対象として、それらが有する魅力及び認定ストーリーとの関連性について理解を深め、さらなる探求や体験へと導くことを目的としたガイドブック(小冊子)を作成する。

(5) リーフレットリニューアル

日本遺産「桑都物語」のリーフレットについて内容の充実を図るほか、訴求力のあるデザインにリニューアルする。

3 調査研究事業(予算規模 2,500 千円)(1) 日本遺産PRに向けたアニメコンテンツ等の活用に関する調査研究

日本遺産の認知度向上や市内回遊性の創出に向けて、アニメコンテンツとのコラボレーションの効果について調査研究を行う。

(2) AI活用によるガイド機能拡充に係る調査研究

ガイドアプリケーションの構成文化財のガイドにおいて、利用者の趣向等に合わせた構成文化財及び認定ストーリー情報を提供し訴求力を高めるため、大学や民間事業者との連携によりAIを活用した情報提供機能に関する調査研究を行う。

4 活用整備事業(予算規模 3,000 千円)(1) 集客力の高い拠点での日本遺産PRパネル等の設置

市内のなかでも集客力の高い拠点(南大沢地区及び滝山地区等)において、構成文化財や認定ストーリー及び当該地域の特色について情報発信するため、パネル設置等を行う。

(2) ポータルマップによる情報配信

ポータルサイト及び紙媒体によりすでに配信・配布している構成文化財の場所情報やサイクリングマップ等のルート情報等について、一つのマップから検索・閲覧を可能にすることで利便性、視認性を向上させるため、ポータルマップサービスによる配信を行う。

(3) 周遊ルート情報のデータ化

既存のサイクリングマップ等のルート情報をデータ化し、上記ポータルマップで表示可能にすることで、同マップによるルート案内及び関連情報の発信を行い、既存ルート情報の利用促進及びルート周辺エリアへの周遊促進を図る。

(4) 都心部における日本遺産PR促進

国内外の観光客数が増加している状況を踏まえ、日本遺産関連グッズに係る消費者の意見収集及び販売促進を図るため、日本遺産オフィシャルパートナーや民間事業者が運営している都心部の貸しスペースを利用し、PR・販売促進を行う。

(5) ECサイト(オンラインショップ)運営

令和6年度に構築したオンラインショップについて、決済機能等の運用に必要な機能の整備を行うとともに、運用を開始する。

6 総括評価・継続審査関連(予算規模 3,500 千円)(1) 次期地域活性化計画策定支援業務委託

令和8年から始まる文化庁の総括評価・継続審査を見据え、これまで実施した事業の分析のほか、消費者や社会のニーズのほか、他地域の先事例等に基づく強みの磨き上げ、また次期計画のビジョン策定の根拠となるエビデンス収集等の次期地域活性化計画策定に向けた支援業務を委託する。

7 日本博 2.0(予算規模 50,603 千円)

日本遺産構成文化財である高尾山において、薬王院を中心とした信仰の歴史と四季折々の豊かな自然環境が融合した霊山の文化が息づいていることを踏まえ、来日観光客をはじめとする来訪者を対象に、歴史文化の本質的な魅力を伝える情報コンテンツの作成・発信、文化観光ツアー造成、1年を通じて訪れてもらえる魅力づくりによる来訪機会の平準化に取り組み、持続可能性を高める。

(1) 体験の高付加価値化

- ① 多言語音声ガイドサービスの製作
- ② 高尾山薬王院特別体験に係るツアー商品の造成
- ③ 訪日客への対応力向上研修の実施
- ④ ポータブル翻訳機の整備

(2) プロモーション

- ① 旅前外国人を対象とするPR映像の製作・プロモーションの実施
- ② インバウンド向けウェブメディアでの情報発信
- ③ 高尾山周辺でのPR映像の放映

(3) 商談対応

- ① ツーリズムEXPOジャパン 2025 愛知・中部北陸への出展
- ② インバウンド向け商品を扱う旅行会社等向けファムトリップの実施